



南アルプスユネスコエコパーク

～守る自然と活かす自然 山々でつながる心と心 自然と人が共生する地域へ～

入笠山周辺を含めた南アルプスはユネスコエコパークに登録（平成26年6月12日）されています。

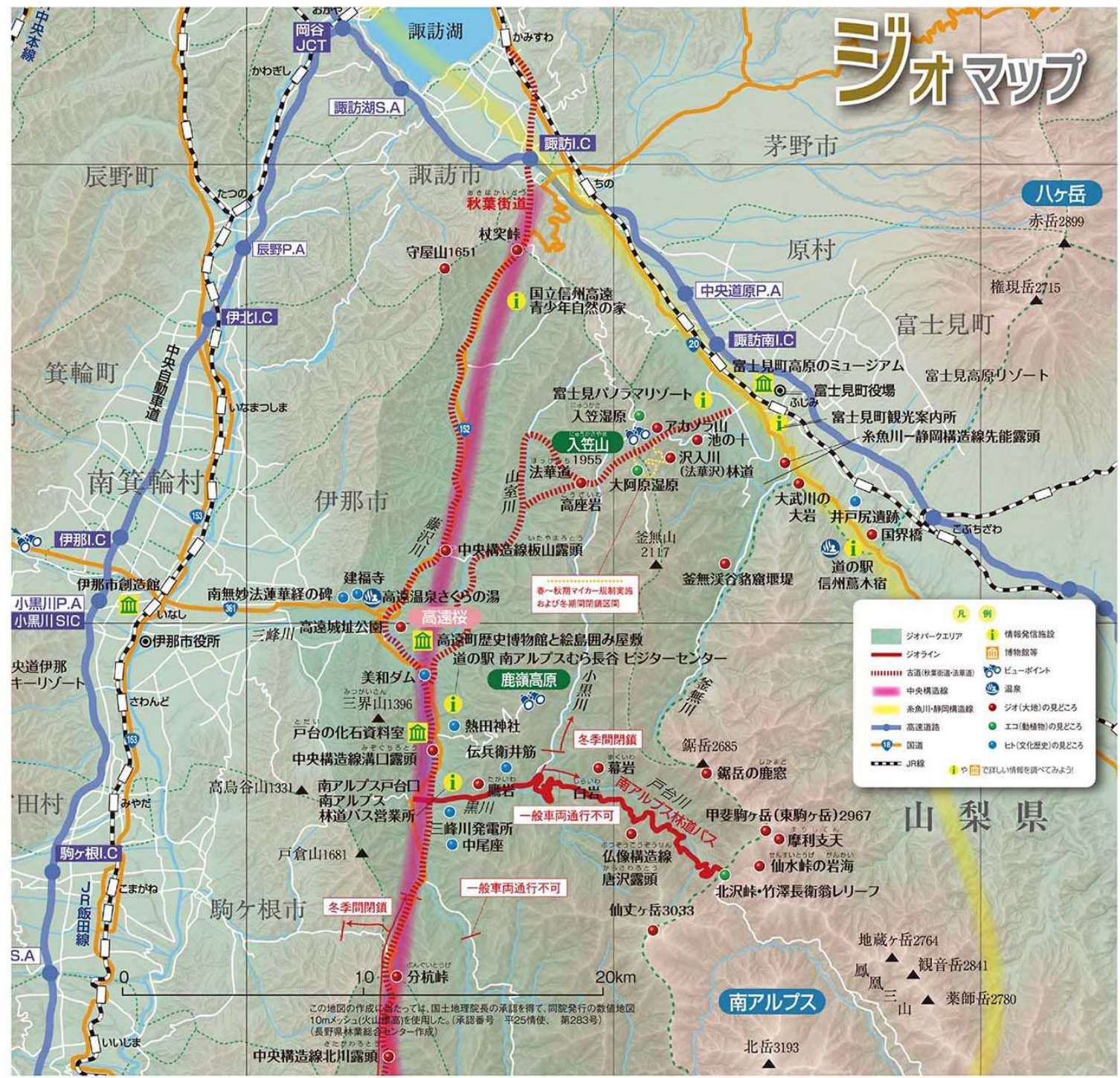
ユネスコエコパークとは

教育、科学、文化の発展と推進のため、1976年にユネスコ（UNESCO：国際連合教育科学文化機関）が開始した事業で、生態系の保全と持続可能な自然と人間社会の共生を目的として、地域の豊かな生態系や植物多様性を保全し、自然に学ぶとともに、文化的、経済・社会的に持続可能な発展を目指す取り組みが評価されているエリアです。ユネスコエコパークとは国内通称で、海外ではBR：Biosphere Reserves（生物圏保存地域）と呼ばれています。

南アルプスは赤石山脈と呼ばれ、長野、山梨、静岡の3県にまたがり、南北約100km以上に及び日本を代表する山岳地帯で3000m級の山々を10座以上有しています。国内では屈指の多雨多湿地帯で低標高から高山帯にかけて顕著な森林の垂直分布が見られ、高山帯には固有種や氷期の南限種が多く生息する生物多様性に富んだ自然環境を有しています。かけがえのない自然環境やそこに根付いた特色のある生活文化を受け継ぎ、自然や文化を体験できるプログラムを楽しみましょう。



入笠山 山頂



- ### 入笠山宿泊ご案内
- マナスル山荘 本館** ㊿ 通年
 - 収容人数 50名
 - ☎ 0266-62-2083 富士見町入笠山(山口 信吉)
 - http://manaslu-sanso.com/manaslu/
 - マナスル山荘 天文館** ㊿ 4月下旬～11月上旬
 - 収容人数 35名
 - ☎ 0266-78-7022 富士見町入笠山(山本 良一)
 - http://manasuru.com/
 - 山小屋入笠農協ハウス** ㊿ 4月中旬～(要予約)
 - 収容人数 30名 ● キャンプ場収容人数100名
 - ☎ 0266-62-4122 ☎ 0265-94-2473
 - 伊那市高遠町芝平 (JA上伊那東支所)
 - 山彦荘** ㊿ 4月下旬～11月中旬
 - 収容人数 40名
 - ☎ 0266-62-2332 富士見町入笠山(伊藤 高明)
 - http://www.mid.janis.or.jp/~yamabiko/

- ### お問い合わせ
- 長野県諏訪郡富士見町後場産業課 TEL.0266-62-9342 https://www.town.fujimi.lg.jp/life/1
 - 長野県諏訪郡富士見町観光案内所 TEL.0266-62-5757
 - 長野県伊那市役所 観光課 TEL.0265-78-4111代 (一社)伊那市観光協会 https://inashi-kankoukyoukai.jp/
 - 高遠町総合支所 TEL.0265-94-2556
 - 長谷総合支所 TEL.0265-98-3130
 - 長野県伊那市高遠町JA上伊那東支所 TEL.0265-94-2473 上伊那農業協同組合 https://www.ja-kamiina.ijan.or.jp/
 - 富士見パラマリゾート TEL.0266-62-5666 https://www.fujimipanorama.com/



伊那市・富士見町

入笠山山系を含めた南アルプスがユネスコエコパークに登録されました!

信州 入笠山

にゅうかさやま

NYUKASAYAMA - ROUTE GUIDE 360°のパノラマ



入笠湿原



中央アルプスの絶景



入笠山山頂から八ヶ岳を望む



レンゲツツジ

一歩踏み込んだそこは、自然に満ちた遊歩道。

入笠山コース案内図

入笠山では林道を外れ山林内をモーターバイクが走ることが原因による自然破壊が深刻な問題になっています。山林内は私有地のため土地を荒らす行為は罰せられることがありますので絶対にやめましょう。



南アルプス(中央構造線)ジオパーク



～大地と歴史の物語～

南アルプスの北端に位置する入笠山は、南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークに認定(平成20年12月8日)されています。南アルプスはそのほとんどが大昔に海底に堆積した地層から成り、約200万年ほど前から急速に隆起し始め、3,000m級の山々が連なる急峻な山岳です。日本列島が東西から押し縮められる地殻変動で、現在でも世界的にも稀な速さ(年間4mm以上)で隆起する一方、たくさん雨が川となり深い谷を削り続けています。ジオパークとは、ジオ(地球)に楽しみ、ジオを学び、ジオツーリズムを楽しむ場所です。入笠山周辺にも悠久からの地殻変動により形成された地形や地質など大地の遺産をみることができるジオサイトがあります。ジオサイトでは、雄大な景観を楽しみ、地形や地質(岩石・地層)に刻まれている大地の記録を発見しながら散策をしましょう。



360度の大パノラマ 入笠山山頂 夏から秋には牛がのびのびと歩き回る 入笠牧場

- 入笠山一帯では、植物・昆虫・岩石の採取はご遠慮ください。
- 環境保護のため、必ずゴミは持ち帰しましょう。また、アイドリングストップを心掛けましょう。
- 入笠山付近は中・大型バスは通行できません。また路線バスはありません。

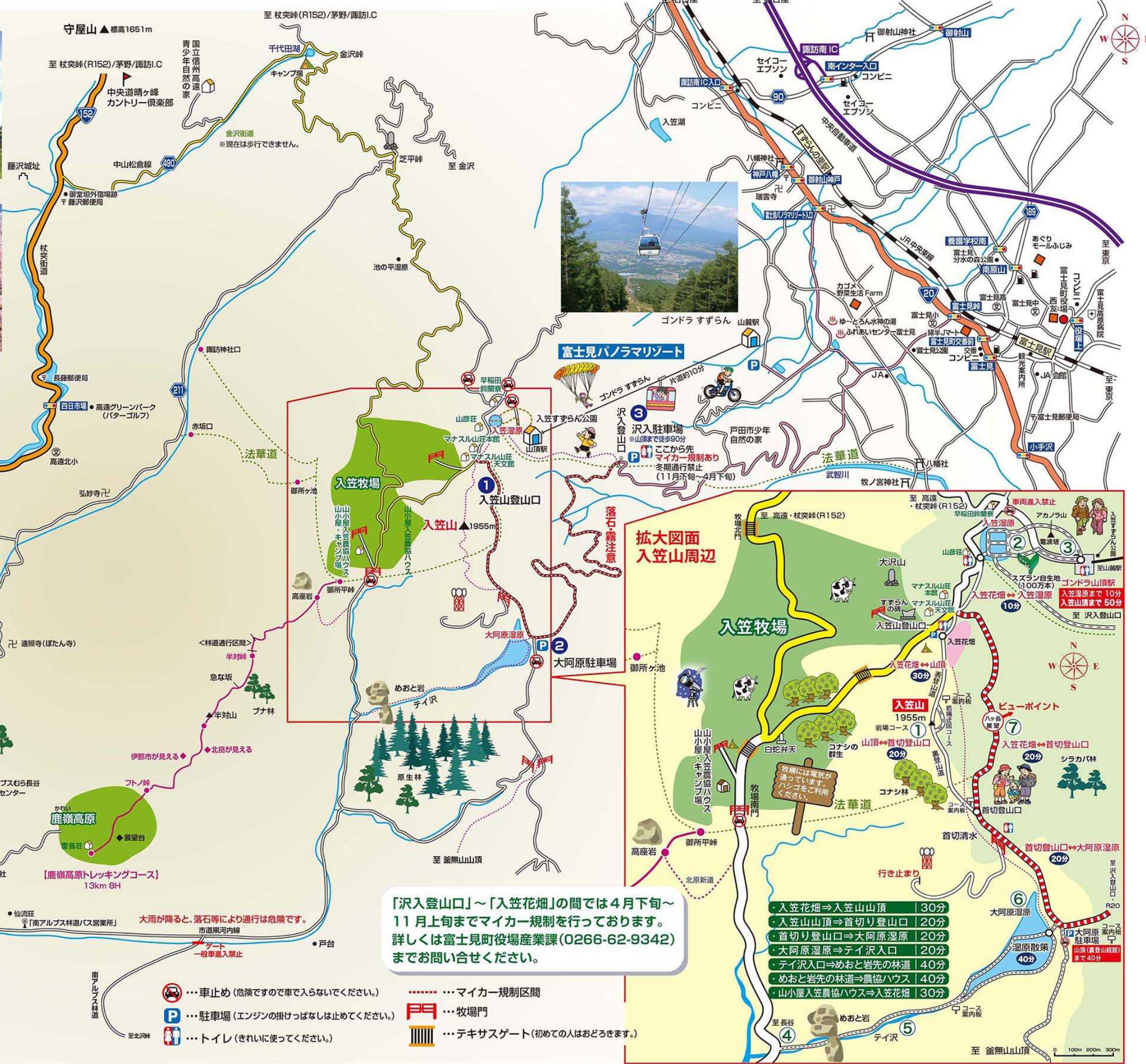
〔法華道〕
室町時代から日蓮宗の布教のために使われ、かつて人々の往来のあった道
※行程は諸説あります。
※現在は歩行できない箇所があります。

〔金沢街道〕
江戸時代に参勤交代や、塩・雑穀などの流通に使われた道
※現在は歩行できない箇所があります。

車での所要時間	
諏訪南I.C. 約7分	富士見パノラマリゾート
諏訪南I.C. 約20分	3 沢入駐車場
諏訪南I.C. 約35分	2 大阿原駐車場
諏訪南I.C. 約40分	1 入笠山登山口
伊那I.C. 約100分	1 入笠山登山口
諏訪I.C.	1 入笠山登山口

(枝突峠経由)

※左ページについては、方位・縮尺が歪んでいる部分があります。



「沢入登山口」～「入笠花畑」の間では4月下旬～11月上旬までマイカー規制を行っております。詳しくは富士見町役場産業課(0266-62-9342)までお問い合わせください。

入笠花畑⇒入笠山山頂	30分
入笠山山頂⇒首切り登山口	20分
首切り登山口⇒大阿原湿原	20分
大阿原湿原⇒テイ沢入口	20分
テイ沢入口⇒めおと岩先の林道	40分
めおと岩先の林道⇒農産ハウス	40分
山小屋入笠農産ハウス⇒入笠花畑	30分

① 入笠山山頂

標高1,955mの入笠山山頂に登れば甲斐駒ヶ岳や鳳凰三山といった南アルプスの山々をはじめ、北アルプス、中央アルプス、諏訪湖、八ヶ岳、富士山など360度の大パノラマが楽しめる。入笠山山頂の緑色岩には、暗緑色の斑点があり、中には脈状になっている部分もみられるが、これはクリノクロア(斜緑泥石)の結晶の集合で、山頂付近の緑色岩の特徴となっている。



② 入笠湿原

入笠山麓の標高1,730mに位置する約1.85haの湿原。春から秋にかけて百数十種類の様々な山野草が咲き誇り、日本すずらんの群生地でもある。この湿原を支える水源は豊富で枯れたことが無いといわれている。地質は秩父帯に属しており、湿原内に点在する岩塊はチャート。



③ アカノラ山緑色岩露頭

ゴンドラ山頂駅のあるアカノラ山は緑色岩でできた山である。アカノラの由来は、野良(仕事)にいく赤い山とされているが、これは緑色岩が風化によって、表面の鉄分などの酸化により赤褐色に見えることからついたものと考えられる。現在はカラマツが植林されているが、昔は赤い山容であったとのこと。南面の緑色岩露頭は比較的新しいことから、岩肌の緑色がよくわかる。



④ 戸台層小黑川露頭

古くからトリゴニア(三角貝)の化石が発見されることで知られる戸台層の礫質砂岩が見られる露頭。テイ沢が小黑川に合流する付近にある。戸台層は中生代白亜紀(約1億2千万年前)の比較的浅い海底で堆積した地層が、長い間の地殻変動で隆起したものと考えられている。



⑤ ティ沢

大阿原湿原を源流とし、手つかずの自然林や可憐な草花、岩に付着したコケと清流が美しい。川沿いに進めば、チャートや石灰岩、堆積岩類などを観察することができる。テイ沢の「ティ」は、もともと「梯」だったといわれており、渡るにはいくつもの梯子が必要な沢の流れを形づけている。チャートは侵食に強いいため、急峻な地形をつくりやすい。



⑥ 大阿原湿原

入笠山の南方、標高1,810mに広がる約12haの高層湿原。湿原としては乾燥度が高く、老年時代に入っているため、植物相も低木が侵入している。地層は秩父帯に属し、周囲には大きなチャートなどの岩塊が見られる。湧水が豊富で、湿原を潤した後にテイ沢を流れ下り小黑川に合流する。



⑦ ビューポイント

入笠山山頂の直下に位置し、山頂に次ぐ八ヶ岳の眺望ポイント。眼下には日本を横断するフォッサマグナ西縁の糸川川-静岡構造線が走り、八ヶ岳からの韮崎岩砕流の痕跡や、富士川水系と天竜川水系を分ける分水界などを地形から確認することができる。入笠山側に目を向けると緑色岩の大露頭があり、緑色岩の模式地として古くから知られていた。

